



2024年度インド教職員招へいプログラム

最も印象に残っていること

- 学校における授業等を通じて与えられるあらゆる情報や知識は、子どもたちの学びに大きな影響を与えていた。
- 外国語としての英語教育であろうと、米づくりであろうと、図画工作であろうと、すべての教育活動における入念な準備や、方法論、そして異なる年齢層や子どもたちの多様なバックグラウンドに対応する支援が必要であることを改めて実感した。

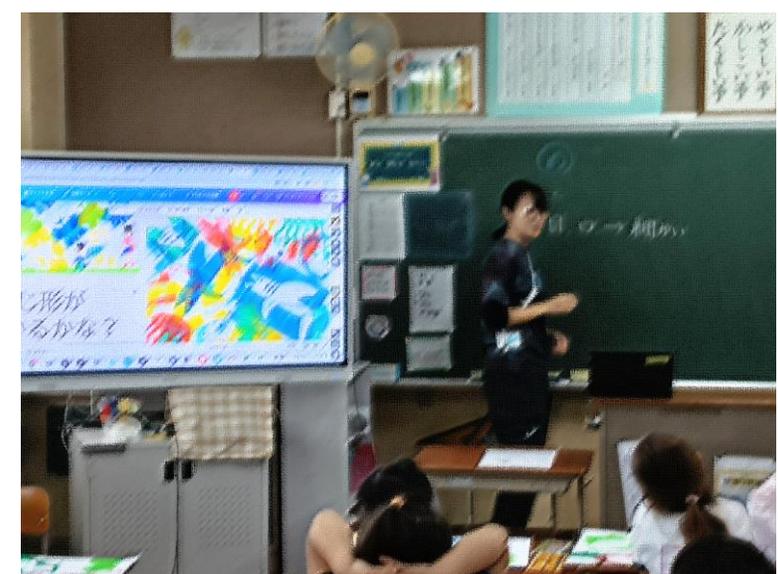
高校英語の板書は、生徒がきちんと内容を理解し、自主学習に役立てられるよう、分かりやすくまとめられていた。



米を育て、収穫し、乾燥させるという就学前教育における体験学習は、子どもたちのライフスキルを高めていた。



小学校の図画工作の授業では、ボードに描かれた人物を細かく描写したり、子どもの想像力を掻き立てる授業が展開されていた。



学校のために

- 教師に対するサポート
 - 教師が、子どもたちが好奇心をもって学び、環境の変化に適応できるような学びの環境をつくることをサポートする
 - 教師が、子どもたちの自主学習や学習したことを身につけることに役立つ教材をつくることをサポートする
 - 教師が、プレゼンテーションを通じて表現の機会をつくることをサポートする

経験・体験に基づく学習 - 幼児教育 - 絹糸染め



私の アクション プラン

プレゼンテーション・スキル 高校- 科学プレゼンテーション



教員研修において

- トレーニング
 - ✓ 幼児教育において、経験に基づく学びを展開できるような研修を行う
 - ✓ 参加型アプローチを授業に取り入れるための研修を行う
 - ✓ 教室でテクノロジーを有効活用するための研修を行う

参加型アプローチとテクノロジーの活用 - 小学校 - 英語の授業

